

令和6年6月教育委員会定例会会議録

日時 令和6年6月20日（木）

10:00～11:50

場所 役場 第1会議室（1階）

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
松尾委員、富木委員

事務局：朝長次長、筒係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 全員出席（筒係長途中まで）

2. 会議録署名委員氏名

山下委員、富木委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

（5月定例会の会議録を確認。）

4. 報告事項

森田教育長	本日は、筒係長があとの用事があるということで、給食センターからの報告を先にしていただきます。
-------	--

1) 給食センター

5・6月事業報告、6・7月予定について

（別紙により筒係長報告）

松尾委員	栄養教諭が訪問される時に、是非子供たちに非常食の必要性とか意味などを教えていただけると、子供たちも理解して食べるのではないかなと思っていますが、いかがでしょうか。
------	---

筒係長	8月末から給食が始まりますが、9月1日が防災の日なので、28、29、30の3日間のうち、どこかで非常食の提供をしようと計画しています。その辺も兼ねたところの指導はできるかなと思いますが、栄養教諭にもその旨伝えたいと思います。
-----	--

森田教育長	資料等作成していただいて、担任の方からの指導でも十分だと思いますので、そういった機会を作っていきたいと思います。
-------	--

富木委員 6月21日に、中央小1年生の試食会ということで保護者が70名ということですが、これはもちろんこれで良いことだと思いますが、例えば6月13日の中央小や18日の南小学校の社会科見学がある時は給食がないとなっていますので、こういった時に日程調整ができないものなのでしょうか。

筒係長 授業参観の日とかの兼ね合いがあります。それと試食会ができるかどうかは、その日の給食の内容にもよりますので、調理員さんとも調整しながらできるという判断の元で実施しています。その辺は、学校と調理員さん、栄養教諭の方で調整をしながら進めております。

富木委員 そういった少なく作る時に調整できればと思ったものです。

森田教育長 バイキング給食については、他の学校の代休日で調整はしています。以前は給食試食会も全学年で行っていましたが、今はかなり絞り込んで、1年生だけとか、あるいは6年生の最後の思い出作りにとか、6年間の内1回ぐらいいはということで行っています。給食の現状を保護者の方にも知っていただきたいということで、どの学年も1回以上は行っていると思います。

筒係長 コロナ禍で出来ていない学年があるということでしたので、今年度はちょっと増やさないといけないかなあという話は出ています。

富木委員 はい、ありがとうございました。

森田教育長 他所から来られた先生方からも、波佐見町の給食は美味しいと、量も味もとても良いという評価をよくお聞きしています。

松尾委員 支援員さん方も食べられるのでしょうか。

森田教育長 もちろん個人の希望になりますが、基本的には支援員の方も食べられています。教室で食べるかどうかは各校の状況にもよると思いますが、支援員さんたちも、ほぼ一緒に食べられているのではないかと考えています。
他ございませんか。もし、またございましたら、後で次長を通じて回答したいと思います。ここで筒さんについてはどうぞ。では、次長から報告をお願いいたします。

2) 教育委員会

5・6月事業報告、6・7月予定について

(別紙により朝長次長報告)

※報告事項（追加・その他）

森田教育長

付け加えをします。3ページに戻っていただいて、5月30日郡の体育協会の理事会が川棚で行われています。その時一つの提案というか要望ということで、これは本町のスポーツ協会の理事会の中でも出ましたが、先日あった郡中体連で、コロナがあったため現状開会式と閉会式が行われていません。終わりもいつ終わったか分からなくなっているのですが、せめて表彰式だけでもやった方が良くはないかという話が出ています。もちろん3校全て揃っている種目、2校しかいない種目、1校しかいない種目とバラバラではありますが、表彰式だけは子供たちが揃っているところで行った方が良くはないかと、関係者の方からのご意見が 있습니다。そのことについては、中体連の事務局に伝えるという形で、そちらの方が望ましいのかなと思っていますところです。

6月8日土曜日、皿山人形浄瑠璃の小屋入りを行いました。8月21日の皿山人形浄瑠璃の奉納とか、もろもろのイベントで披露するために、これから練習に入るということで小屋入りを行いました。

16日インディアカ大会が中止になりましたが、その日東彼杵町の総合会館で東彼合唱祭、東彼3町の合唱サークルの方々の発表会がありました。波佐見町児童合唱団はそれなりにメンバーはいますが、川棚町、東彼杵町は本当に少ない人数でした。本町は少なくなったと言っても50名弱いるわけですが、大人の方々の団体も、2町はかなり厳しい、寂しい状況になっているようです。今後こういう文化活動をどう盛り上げていけば良いのかと思っています。しかし、合唱祭としては、とてもいい雰囲気の中でありました。

先ほどの町民インディアカ大会について状況説明を行いましたが、一つは役場職員の負担増を少し見直していきたいという、町長や財政当局からの意見もあります。例えば日曜日にインディアカ大会や林道マラソンを行う時、職員はその前日、前の前の日からかなりの準備作業を行っています。ところが、その勤務の代休はほとんど取れていない状況です。今までは当たり前にやって来ましたが、職員の働き方改革の部分も踏まえて、そういう検討の時期に来たのではないかと町長からの提案もあって、教育委員会の事業でも見直してほしいと言われているのが林道マラソンです。ただ、私たちは林道マラソンは、波佐見町をアピールする絶好の、面白いユニークな競技かなと思っています、少ないと言っても100人から150人の方々が参加をされて、楽しみにされています。ですが、職員の負担も大きいということで、難しいところだなと思っています。ただでさえロードレースや一周駅伝、その他教育委員会関係のイベントがかなりある中で、そろそろ見直す時期に来ているのではないかとということです。教育委員さんとしてご意見をお聞かせ頂ければと思っています。確かに、特に教育委員会の職員は、土日の業務の代替はほとんど取れていません。

4ページに行きまして、ご存じのように今、各学校では小中高と長崎っ子の心を見つめ直す教育週間が行われています。

青少年健全育成会主催の親子交歓球技大会は、8月第1日曜の伝統あるイベントでしたが、この時期は猛暑であり、かえって危ないのではないかと医師会と保護者からも意見をいただき、検討する時期に来ていたと思います。そこでPTAの学年事業と抱き合わせて行って良いのではないかとということで、落ち着き一本化されたようです。ただ、体育センターの空調が予算化され、今年度中に執行されますので、来年度からは空調が完備されることになります。そうなった時、実施はどうするのかということも、一応会長さんには伝えてあります。ただ、練習等々もあると思いますので、今後については検討してくださいと提案をしています。

月曜6月24日から8月9日まで約1か月半、町政報告会が行われます。全22地区2時間弱、町政報告と意見交換が行われます。

7月予定のいきいき大学に来ていただく方は、島原市の中村まり子さんという高名な助産師の方で、全国的にも命、性について講演をして回られています。今回、中村さんの話を聞きたいと、特別に他市町からも意見要望もあっているようです。ありがたいなと思っています。私たちも期待をしているところです。

18日被爆体験の講話が東小学校で行われます。そして19日が1学期の終業式になっています。28日大ホールで、母子寡婦委員会の研修大会が行われます。29日県立大学シーボルト校で、ペッパー君を使った子供たちのプログラミング研修を、希望者を募って県立大学との連携事業を行う予定です。そして、30日が先生方の人事の一次ヒアリングで、1回目の情報交換が行われます。

はい、次長からの説明と、私からの追加ということでご質問ご意見、お尋ね等があれば、お聞かせください。

富木委員

6月29日の青少年健全育成の件ですが、体育センターは空調化になるということですが、この大会自体が中学校小学校の体育館も使うことになりま

すので、そこら辺りが問題が残りますね。

森田教育長

体育センターだけの問題ではないので、難しいかなとは思いますが、使えるようになれば、もしかしたら例えば綱引きとか別の種目に変更することもあるのかも知れません。一応情報提供だけです。事前の練習とか、会場が分かれることもあるので、やっぱり厳しいと言えば厳しいのかも知れません。

富木委員

野球とか、そういった屋外スポーツ、夏の高校野球でも時間を朝夕にするとかなっていますので、そこら辺りもやっぱり問題が出てくるかなと思います。

森田教育長

難しいですね。実は昨日も学校から、プールの夏休みの開放のことで、朝7時の時点でもう30度を超えてしまうことがあり、屋外での活動は控えた方が良くのではないかという意見もありました。そうなると、ほぼ6月以降の行事は全て見合わせるようになってしまいます。朝は良いけど、帰りが帰れないとか、それを厳守したら何にもできなくなります。30度は7月から当たり前ですから、外での活動、プール活動が全くできなくなるということも、果たしてそれはどうなのかという意見もあっています。ただ、そこをプールを止める理由に持ってこられると、なかなか難しいところもあるし、かと言って全部中止にすることも、果たしてどうなのかなとも思っています。本当に教育活動や地域活動、社会教育活動、生涯学習がほとんどできなくなってしまう、そこまで難しい問題かなとも思っています。今日も朝のテレビで、小学生でも日傘を持たせているとか、中学生も帽子を被らせて良いのではないかと話題になっていました。日傘登校も全然構わないということは、もう以前から伝えてはいますが、そういう熱中症対策については、今まで全然経験がない部分もあります。空調利用開始は、暑さが厳しいと思ったら学校判断で付けてくださいと言っています。熱中症計も全学校設置をしていますので、学校の判断で30度超したら教室に上がりなさいとか、そういう指導は厳しくやっているところがあります。

山下委員

体育センターと中学校の体育館で部活をされる時、空調が付いている付いていないという、そういったところも問題になってくるでしょうね。

森田教育長

そうですね、確かに。一応学校の体育館の空調についても予算要望は上げてはいますが、ただ全国的には少しずつ小中学校の体育館についても、空調化という動きは出ています。本町もまずは大型扇風機との話はしていますが、音がうるさくて、やっぱり出来たら空調が一番ありがたいかなと思っています。本町の場合は国民文化祭もあるので、まずは講堂の空調化を先に進めたいと思っています。

馬場委員

いきいき大学で呼ばれる中村まり子先生の話は、物凄く良いです。一度大村東彼の食改で呼ばれましたが、自分たちが行くより、子供を持つ親に聞いて欲しいですね。直接子供にも聞いて欲しいですが、今性の問題が取り沙汰されていますが、こういった方を家庭教育講演会あたりに呼ばれた方が一番良いのかなと思います。講演料が少し高いですが、物凄く良い話だから、そこら辺りはどうにか援助してもらおう形で、どうにかやっていただければと思っています。私も17日は聞きに行こうかなと思っています。

森田教育長

家庭教育講演会が、まだ決まっていなければですね。今のところ矢野大和さんという名前が挙がっているようですが、今回の講演会が良ければ、

その時は、検討してもらっても良いのではないかと思います。はい、それでは、次中体連結果ということでお願いします。

3) 郡中体連結果について

朝長次長 7ページからです。中体連の結果を頂きましたので、それを付けています。

【資料により説明】

以上でございます。

森田教育長 ご覧いただいているように、三校揃ったチームの方が逆に少ない。ほとんどが2校とか単独ですよ。波佐見町は、全中連（全国中学校連盟）が発表した、今後全国大会を行うと言われている9競技については全部あります。ところが、東彼杵中なんかは半分以上ありません。そういうところがあるので、部活動の地域移行については、郡内で合同で東彼杵クラブみたいな形でできるような地域移行につながって行けば良いだろうなとは思っています。そういう方向性を、中体連事務局や郡の校長会とも話をし始めたところです。議会答弁も行いましたが、長与町は別として、他の自治体の中では波佐見町は進んでいます。研究検討もしていますし、予算的な支援も、各種意向調査などもやっていますので、他の自治体から波佐見町をモデルにしたいと言われるようになっています。町の方の理解も高いからですね。

成績は昨年並みでしたが、ただ11月に行われた新人戦では川棚が圧勝していて、本町は3分の1ぐらいしか取れていませんでしたが、その後よく頑張ってくれたなあとと思っています。ありがたいということと、指導者の方に対して感謝していますし、外部指導の方々にもお礼を申したいと思います。

次、定例議会のことでどうぞ。

4) 6月議会定例会について

朝長次長 はい、別冊でつけております。今回は11名中6名の方からの一般質問がありました。

【資料で説明】

森田教育長 定例会について、何かご質問とか、お尋ね等ありますか。24日の校長会

でも、このことについては、確認をしたいと思っています。

もし、ありましたらご意見どうぞ。無ければ、次に進みたいと思います。

それでは、4の議題で就学援助の認定についてということで、お願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 今回は、児童扶養手当の継続が1件と、不認定が1件ございます。

【資料にて説明】

以上でございます。

森田教育長 児童扶養手当ということですので、認定について、よろしく願いいたします。では、裏に行きまして、持ち寄り議題は最後にして、その他についてお願いします。

5. その他

1) 令和7年度国民文化祭について

2) 学校訪問について

3) 歴史文化交流館特別展・企画展

4) その他

朝長次長 まず、国民文化祭につきまして、1枚紙のスケジュールと別冊を差し上げているかと思います。

【別冊資料にて説明】

森田教育長 宜しいですか。無ければ、次学校訪問お願いします。

朝長次長 来週26日と27日、南小学校と中央小学校になります。また時間等についてはご連絡をさせていただきたいと思います。

続けて歴史文化交流館の特別展・企画展ということで、先ほど特別展のお話をさせていただきましたけども、佐世保の山本さんという県警を退職された方から日本刀の寄贈を頂いております。その日本刀の展示と、オランダのグイドさんというコンプラ瓶コレクターから12個のコンプラ瓶を寄

贈していただきましたが、その中から三つを常設展の中で展示をしております。もし、お時間があるようであれば、ご覧いただければと思っています。その常設展を18日まで行いまして、それ以降特別展化石のミカタ展の準備をしたいと思っています。期間は7月24日から9月23日までになります。期間中8月4日には、小ホールを使いまして、長崎恐竜博物館から中谷学芸員に来ていただいて、午前中講演会、お昼からはワークショップということで、石を割って本物の化石を取り出すイベントを歴文で行おうと思っています。実際の恐竜の化石ではなく、葉っぱの化石とかあるみたいです。こちらにつきましては、学校を通じて呼びかけを行いたいと思っています。ワークショップは化石に限りがありますので、もし応募が多い場合には抽せんになると思っています。

今後の予定ということで、今年が黒板勝美先生生誕150年、それと福田清人先生が生誕120周年ということで、恐竜展の後に、そういった企画展を行おうと思っています。

その後に、盛山学芸員の恩師の恵良先生からいろんなものを頂いておりますので、恵良先生の寄贈展を計画しています。今年度最後には和鏡展を行いたいと予定しております。以上でございます。

森田教育長

何かご質問あられますか。また近づいてきましたら、詳しい情報等々をお知らせいたします。

その他ということで、子ども県展でございます。子供たちの作品展としては県内で一番大きい子ども県展を、ありがたいことに初めて波佐見町で開催していただきます。基本的には長崎県美術館と佐世保島瀬美術センターでしか行われていみせんでしたが、離島開催が始まって、この三地区開催でしたが、今回波佐見町の講堂を会場に使いたいということで、とてもありがたいことです。私の経験の中では無かったことですので、大変ありがたいと思っています。どれだけの準備が必要なのかまだ分からないところもありますが、5,000名を目途にするような、県内最大の子供たちの作品展ですので、是非成功に向けてということをしています。学校の小学校中学校の図工部会美術部会の先生方にも、作品の搬出入とかお願いしています。あるいはその見守り等々についても、どこまでの協力が必要なのかということで、今後県と詰めていきたいと思いますが、大きなイベントですので、是非良いものにしてきたいと思っています。

次は、南小学校の中間指導、人権教育の中間指導についてですが、教育委員の皆様方には、来年度の本発表の時に、ご案内をし、出席をお願いいたします。

次です。話題になっています中学校の制服についてですが、もう少し着用の機会を増やしていこうということで、学校内で先生方や学校運営協議会等々の中で、意見集約をされ、31日文書で保護者に発出がされています。まず、制服着用の日ということで、毎週月曜日は制服着用で登校をす

る。2 番目儀式的行事、あとテスト期間、あるいはその前後、そして外部講師を招く講演会等ということで、年間で約50日の日数になります。登校するのが年間200日ですので、200分の50、4分の1は制服を着ることになります。今後は、もしそういうふうになれば、制服を改めて購入することではなく、例えばPTAと協力をしながら、制服を譲り受けるというような取組も積極的に進めていって良いのではないかと思います。保護者の負担軽減にもつながっていくので、PTA活動の一環として、今後そういうふうなことも考えていって良いのではということ今話をしていっているところです。一応、制服については、様子を見ながら、しばらくはこの活用で進んでいきたいと思っています。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

森田教育長 それでは持ち寄り、気づき等々での意見交換の場にしたいと思います。どうぞ。

富木委員 夏休みプールの関連で、プール監視で南小学校は2人専門家の方が入られるということでしたが、これはどういった方に頼まれるのでしょうか。

森田教育長 そういった心肺蘇生法とか専門的なスキルを持った方を派遣できる協会のような外部に頼まれるようです。夏休みのプール開放やラジオ体操を行う期間が、以前に比べると大幅に短くなっています。その対策として、PTAが無理だったら、地域コミュニティーを使って、お爺ちゃん、お婆あちゃん、民生委員さんなんか、いっぱいいらっしゃるので、そういった方々がラジオ体操なんか喜んでしてくれるはずだと話をしています。プールの監視は確かに命に関わることだからというところはあるかもしれないけれど、そこに専門家を入れたら、お祖母ちゃんやお爺ちゃんが見ていても別に構わないんだから、もっとコミュニティーを使ってPTCAという考え方を、もっと学校側がどんどんPTAの方々に伝えていく必要があると言っています。PTAの方は自分の学校のこと、町のことまでしか分からないけど、先生方は県内全て見てきているから、県内の他の良いところの取組など、どんどん紹介して波佐見に合う形にしていくことは、教員の役割じゃないかと話はしています。他の地区でこういう良い取組がありますよとか、学校側が情報を提供し、協力、話題にした方が良いのではないかという話をしています。コミュニティーをもっと使って行くことはとても大事な考え方かなと思っています。ラジオ体操なんて、ほとんど地域の方が来られていましたし、コミュニティーをうまく使って保護者の負担を減らすという考え方が大事ではないかと思っています。無くす、止めるの

ではなく、負担を減らすために、地域の力を借りるという考え方の方が、絶対大事だと話はしています。そういう魅力発信を波佐見町から発信すれば良いと思います。波佐見町は地域の力をどんどん借りていますよということをアピールしていくことも、面白い提案になって行くだらうと思っています。

富木委員 お爺さんやお婆さんがいない家庭が増えてきていますので、逆に、お爺さんやお婆さんは喜ぶのではないのでしょうか。

森田教育長 元々言ってきていますが、なかなか形にならないですね。

富木委員 一つの方法とすれば、地域を巻き込んでとなりますが。

馬場委員 P T Aからそういう依頼というのは、ほとんど地域にはあっていません。

森田教育長 どんどんされて良いですが、なかなかされません。

馬場委員 自分たちの人数が少なかったら、少ないなりの巻き込み方が本当は大事だと思います。

森田教育長 学校運営協議会の中に、P T Aの役員の方いらっしゃるので、P T Aの方から発信していただいて、地域の方にそういう方がいらっしゃいませんかとか声掛けをしてもらえば良いと思っています。大変、したくないとおっしゃるけれど、では出来ないけど、出来る方法って何があるのかという発想がちょっとP T Aには弱くなってきているように感じます。もうやりたくない、できるだけやりたくない、やりたい人だけやれば良いという考え方が、今逆にスタンダード化されているのは非常に気にはなっているところです。

富木委員 結構退職者の中には、専門の消防署の方もいらっしゃいますので、協力いただけるのではないのでしょうか。

森田教育長 そういう方は喜んで行かれると思います。お互いウィン・ウィンの地域共同活動の典型的な例になると思います。そこら辺りを、もうちょっと学校側がP T Aの背中を押してあげられたらなと思っています。

去年から始めた夏休みの体験講座もそうですが、地域の方々に先生になってもらい、その方々は、喜んで参加をしていただけるし、子供たちも喜んで交流ができていますので、そういう関わり方は、改めてもう一度見詰め直す、時期なんだろうと思っています。止めるとか、減らすではなく

て、どうやったら出来るかという発想で、取り組んでいくことはとても大事なかなと思っています。それは公民館活動にも関係してくることだと思っています。小さいから、人がいないから止めるのではなく、今の現状に合った活動をしていかなければなりません。昨日、実は長崎県の「草社の会」という社会教育の関係者が2人来られました。今後社会教育活動に自分たちをもっと積極的に呼んで欲しいという話などを交えて、1時間ぐらい話をしました。今どこの地区もそういう状況で、波佐見は頑張っている方ですよ、波佐見は凄いですよという話もされました。どこの自治体も、小さいから止めよう、キツイ、大変そうだとすることで止めて、どんどん衰退しているみたいです。そうではなくて、高齢化して孤立化しているのであれば、その中でどうコミュニティーを作っていくかということで、何もしなければ、ますます孤立無援になっていくのではないかと話もしました。そういったところをしっかりと踏まえて、3人しかいないけど、では3人でどういう連携がとれるかとか、どういうことができるかという発想に変えていかなければ、ますます厳しくなっていくよねという話になりました。止めるのは簡単だけれど、少ないなりに、どう連携をし、命を守るかという発想で、社会教育、生涯学習は考えていかないと、今後コミュニティーもどんどん衰退していきますよねと、まさしくおっしゃるとおりだなと思いました。そういうことで公民館活動の研修についても、私もそういう答弁で伝えていかななくてはいけないと思っています。少ない中でもやっていただいて、他地区と比べる必要なんか全くないわけで、自分たちの現状を踏まえた、自分たちらしい活動、発表を行ってもらえれば十分なのではないかと提案しようと思っています。

山下委員

東小学校の場合は、学校と地域の方との連携は取られていると思います。また、学校とPTAとの連携もとられているとは思いますが、そのPTAと地域の方々との話合いの場とかというのはありますか。

森田教育長

学校運営協議会がありますが、PTAが遠慮されてるのか、発信力が足りないのか分かりませんが、そこまで行っていないのではないのでしょうか。

馬場委員

PTA活動自体がコロナでほとんど無くなっているというか、そういう状況でもあるし、活動していないので、しないままに流れてしまっている状況だと思います。そういった中でも活動していれば、そういった意見も出てきたのではないかと思います。

だから言うように、学校と地域は非常に密接な関係が出来上がっていて、PTAが孤立しているのではないかと思います。私も自治会長とかやっていたんですが、何の相談も自治会にはありませんでした。実際そこが問題だと思います。自分たちが何をやりたいのか、子供たちに何をしてあげ

たいのか、一緒にやりたいのかという考える場をPTA自体がやっぱり作っていかないとですね。昔はいろんな活動を自分たちPTAで決めてやってきましたが、その時足りない時は地域の人に応援をしてもらうという形でしてきましたが、実際そこが出来ていません。だからそこら辺りの調整をしていかないといけないと思います。PTAの役員さんにやりたくない役員さんがいたら、直ぐそんな風になって、次はもうやらないという結果になってしまいます。今の自治会も結構そういう傾向があるみたいで、やりたくないという人が自治会長になれば、やりたくない方向に流れてしまうようですね。だからやっぱり人選も大切になってきますね。

森田教育長

大変ですよ。特に自治会長さん、体育部長さん、公民館長さんの考えでほぼ自治会の活動は決まります。一昨年まではされていて、役員さんが交替されて、されなかったとなれば、それが実績で残りますので、去年しなかったということで、実績がないとなって、もう上がってこなくなります。もう「0」から「1」はなかなか生まれて来ないので、だから何とか残さないといけないと思っています。もちろん淘汰はしないといけませんが、出来ることをすれば良い訳ですから、「0」じゃなくて、出来ること、それが「0.1」でも構わない訳ですから、これを「0」にしたらもう絶対生まれてきませんし、戻りません。去年やってなければ、わざわざそれをまた元に戻そうというパワーは何倍も入りますので、何とか「0.1」でも「0.3」でも良いので、そこに地域の力を借りることは出来ると思います。今の馬場委員がおっしゃったように、もっとPTAは、地域に出来ない、大変、困っているのを助けてくださいなどを発信をしていく、もっとアピールしていけば良いのに、そこはされないんですよ。そして、止める、大変、したくない、遠くに行っているのが出来ないというのが実情です。ラジオ体操なんかは、地域の方は喜んで来られると思います。その相談はされていないようなので、そこら辺りも社会教育の一環ということで、PTAのケア・指導なども、私たち教育委員会の役割になってくると思います。そういうことも少しずつ啓発していきながら、やっていかなければいけないところではあると思います。波佐見町の地域力をもっと信用して、活用していく方向で、子供たちの健全育成につなげて行ければと思っています。はい、他何かありますか。

馬場委員

昨日も出ていましたが、50周年を来年に控えてのことですが、ある程度教育委員会で統一的な方針を打ち出した方が良いのではないかという感じがしています。例えば、中学校は一つだから問題はありませんが、東でも中央でも南でも、みんな同じような式典をするという格好になるのはちょっと変な感じかなと思っています。3小学校それぞれにするというより、大きな式典、3小学校一堂に会した合同式典を大ホールでやって、そして各学校の50周年記念イベントを各学校ですするという流れの方が良いのでは

ないかというところを打ち出しておいた方が良いかなと思っています。
それに関係して町制の何年後だったかな。町制60周年だったかな。

朝長次長 令和8年度に町制70周年です。

馬場委員 それも控えていると思いますので、50周年に合わせて、例えば授業でやっている美術は絵画コンクールをやるとか、書写もありますので書写コンクールをやるとか、そういうイベントも組んで行けると思います。あと来年度は国民文化祭も重なってきます。また、中尾鬼木の文化的景観指定も遅ればせながら来年度には結果は出てくるだろうと思うし、いろいろイベント的なものを組み合わせてというところもあるのではないかなと思っています。

学校関係は、そこら辺りで統一的なやり方をした方が良いのではないかなと思っていますところですが、皆さんいかがでしょうか。単独で行うと比較をされやすい、中央はこうやった、南はこうやった、東は…ということと比較されるのではないのでしょうか。校長の思いとしてはあられるとは思いますが、やり方次第でしょうが、一応提案させていただきます。

森田教育長 一つ、中央小の校長から来年度50周年記念ということで、運動会を来年度だけ一日の元に戻して、地域運動会みたいな運動会にしたいと相談があります。子供たちの種目を増やすのではなく、今の3種目は3種目なんだけど、それ以外に地域との交流イベント的なもので一日運動会に戻したいと相談があります。50周年の時だけで、記念的に地域を巻き込んだ大運動会的なものを、お弁当も含めて相談があっていて、それも一つの案だよねという話はしているところです。1校がするのであれば、3校ともした方がきっと良いと思います。

馬場委員 東の場合は少ないから、学校運動会に地域ぐるみでというのは、それはそれで一番良い方向だと思います。

森田教育長 だから負担過重になってしまうと、学校側が本末転倒の部分もあるので、その中で今おっしゃったように国文祭とか、町制70周年記念とか、そういうこと踏まえた上で、どういうイベントが子供たちの心に残り、記念としてアピールできるのかというところを考えていかなければなりません。ちょうど自分たちが、その時代にいたんだというところを、子供たちに感謝させることはとても大事なかなと思います。もちろん保護者にもですね。そういうイベントになるような、もしかしたら、もっと子供たちが主体的に参画できるようなものもあって良いのではないかなと思っています。そういうものが、改めてやってみたいね。学校の50歳の誕生日にどんなお祝いがあったら、学校が喜ぶかなあという子供たちの発想も、とても大事

なのかもしれません。

他ございませんか。はい。それでは、時間も迫ってまいりました。次回7月の定例会の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

それでは、次回7月は23日の10時からということでお願いしたいと思います。長時間にわたり、ご審議、意見等々頂きありがとうございました。それでは、以上をもちまして6月の定例教育委員会を終わります。お疲れさまでした。ありがとうございました。

※次回定例会予定 令和6年7月23日 10時00分から
役場会議室

令和6年6月20日教育委員会定例会会議録署名	
署名 委員	山下 祐子
	湯木 義典